



2026年9月号

発行所 沖縄医療生活協同組合

豊見城市字根差部588-3

☎ (098) 856-3107

ホームページアドレス <http://www.oki-iseikyo.jp>

発行人 上原昌義



◎ 沖縄医療生協の現状 2026年7月末

組合員数 82,018人

出資金 17億3,813万1千円

「つながりづくり強化月間」 発見しよう！知らせよう！やってみよう！きょうどうの魅力

「つながりづくり強化月間」(生協強化月間)とは

全国の生協では毎年秋に「生協を強化すること」に集中した取り組みを「つながりづくり強化月間」として実施しています。
全国四課題(組合員ふやし、出資金ふやし、班づくり・班会開催、担い手ふやし)を前進させて医療生協の組織的経営的土台の強化を図ります。

沖縄医療生協 2026つながりづくり強化月間 ～スローガン～

◎ゆるやかなつながりを広げ、多世代が参加できる取り組みを開催し、組合員ふやしを達成しよう！

◎事業活動の発展や経営の安定化を図るために、出資金ふやしを達成しよう！

◎今後の支部活動の安定を目指し、一緒に活動する担い手ふやしを達成しよう！

年間目標の8割達成をめざします

全国四課題	年間目標	8割達成
組合員ふやし	3,500人	2,800人
出資金ふやし	1億5千万円	1億2千万円
班づくり	44班(1支部1班)	35班
手配りふやし	100人、1,500部	80人、1,200部



与勝支部スクエアステップ



伊良波支部スマホ講習会 中高生サポーターも参加

組合員ふやし、出資金ふやしにご協力を

10月1日(木)～11月30日(月)までの期間、つながりづくり強化月間となります。

医療・介護の地盤を強化し次につなげるために、地域・事業所での組合員ふやし(加入)、増資協力(出資金)の取り組みをすすめます。

健康づくり・仲間づくりに取り組みましょう

ブロック、支部や班での行事やイベントを独自に企画し、交流を通して月間推進につなげましょう。

また、イベント等に未加入の方もお誘いし医療生協の良さをアピールして加入につなげましょう。

- ・秋の健康チェックを各ブロック・支部で計画し、他団体へも参加を呼びかけましょう
- ・「班」で健康チェックや健康講話、ユンタク会、茶話会など
- ・「支部」でウォーキングや筋トレ、フレイル予防、ボッチャ、ピクニックなど
- ・医療、介護、福祉の専門職である医療生協の各職員が参加しての班会開催
- ・居場所づくり・助け合い活動で、子ども食堂、フードパントリー、無料学習塾の取り組みなど
- ・医療生協だよりの手配りを通したつながり。LINE(ライン)などの情報提供



小禄3支部ピクニック

地域組合員と職員が協力して、目標達成を目指しましょう

「お元気ですか訪問」「新規組合員訪問」や、「組合員利用率100%デー」に支部と事業所が協力し、医療生協の良さをアピールして目標達成につなげましょう

2026年度 組合員活動交流集会

●日時 9月18日(金)
13時30分～16時30分●会場 中部協同病院 3階講堂
(沖縄市美里1-31-15)

●主な内容

- 1) 2026年度つながりづくり強化月間に向けた提起
- 2) 医療福祉生協連 動画視聴
- 3) グループワーク
- 4) フレイルチェック

●参加申込締め切り

9月11日(金) 17時

●問い合わせ・申し込み先

まちづくり推進部(098-850-9004)



8月1日とよみ生協病院3階にて豊見城ブロック主催「憲法を学ぶ武器で平和はつくれない 豊見城ブロック憲法学習会」が開催されました。参加者は34名、9条を守るため、戦争しない国づくり、法は何度でも学習し、内容を想起する必要があります。参加者からは「憲法をきいて憲法をよる身近に感じられた」「若者たちにも憲法についてもっと知ってもらいたい」「大切なことは私たち大人が声をかけていきたいと思います」。

憲法を学ぶ
武器で平和はつくれない
豊見城ブロック憲法学習会
非常勤理事 儀間 盛昭



沖縄医療生活協同組合 2026年度総代選挙告示

総代選挙規約第4条（総代の選挙区および定員）に基づいて、次の通り2026年度総代に立候補しようとする組合員または立候補を推薦しようとする組合員は、所定の立候補届け出用紙に必要な事項を記載し、9月3日（木）～18日（金）午後5時までに総代選挙管理委員会に届けて下さい。

《選挙区と定数》

(1) 定 数	404人	33、真和志あがり支部	11人
(2) 選挙区		34、首里西支部	5人
1、なご支部	6人	35、首里東支部	7人
2、名護北支部	7人	36、上田支部	7人
3、屋部支部	4人	37、伊良波支部	7人
4、伊江島支部	3人	38、座安支部	5人
5、大宜味支部	4人	39、とみしろ支部	6人
6、東村	1人	40、とよみ支部	6人
7、今帰仁村	3人	41、長嶺支部	9人
8、本部町	3人	42、糸満支部	11人
9、金武町	1人	43、糸満南支部	5人
10、恩納村	1人	44、糸満東支部	5人
11、石川支部	6人	45、やえせ支部	7人
12、うるま具志川北支部	7人	46、南城市知念支部	4人
13、うるま具志川南支部	8人	47、南城市支部	7人
14、与勝支部	5人	48、与那原支部	5人
15、沖縄がんじゅう支部	11人	49、南風原支部	5人
16、沖縄市東南支部	9人	50、南風原南星支部	5人
17、宜野湾支部	5人	51、久米島町	1人
18、西原支部	5人	52、八重山支部	3人
19、読谷支部	5人	53、みやこ支部	9人
20、浦添きた支部	7人	54、沖縄協同病院	48人
21、浦添みなみ支部	6人	55、とよみ生協病院	23人
22、ちやたん支部	4人	56、中部協同病院	17人
23、嘉手納町	2人	57、那覇民主診療所	3人
24、北中城村	3人	58、糸満協同診療所	3人
25、中城村	1人	59、首里協同クリニック	1人
26、那覇支部	9人	60、医療生協本部	3人
27、那覇南支部	7人	61、民医連事務局	1人
28、小禄北支部	6人	62、協同にじクリニック	3人
29、小禄西支部	6人	63、やんばる協同クリニック	1人
30、小禄南支部	7人	64、地域包括支援センター古波蔵	1人
31、真和志みなみ支部	6人	65、生協訪問看護ステーションなないろ	1人
32、真和志西支部	10人	66、生協ケアセンター	1人

《立候補期間》 9月3日（木）～9月18日（金）午後5時まで
《立候補受付場所》 沖縄医療生活協同組合本部・まちづくり推進部
住所：豊見城市根差部588-3 電話：098-850-9004
《立候補届出用紙受取場所》 沖縄医療生活協同組合の事業所

2026年9月1日
沖縄医療生活協同組合 総代選挙管理委員会
委員長 湧川 朝章

核兵器や武力に頼らない 平和の発信を

～原水爆禁止2026年世界大会～

8月4日～6日、広島県で開催された原水爆禁止2026年世界大会に7名で参加しました。

大切だと学びました。

それとは逆に、「抑止力」

大会では核兵器禁止条約をめぐる世界の動きや、核兵器をなくすために各地で取り組んでいる人たちの話を聞き、平和を願う思いは国や地域を越えてつながっていることを実感し、一人ひとりが関心をもち、声を上げ続けることが

平和は誰もが望んでいます
が、その方向性は多種多様だ
と思います。しかし、唯一の

戦争被爆国であり、沖縄でも地上戦によって多くの命が失われた日本だからこそ、核兵器や基地、武力に頼らない平和を世界に発信するべきだと思います。

私は、以前より沖縄の基地問題を全国で考えていくべきだと思っていましたので、今回の世界大会参加は、広島

地で核問題を考える事ができ
貴重な経験になりました。
沖縄協同病院
臨床工学技士 儀間 竜海



過去の病気ではない『結核』 ～早期診断、早期治療が大事



毎年9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。

沖田総司

や高杉晋作

といった幕

末の志士、

正岡子規や

樋口一葉ら

文豪の名前

から「結

核」を連想

する方も多

いのではない

か。彼らが

暮らした当

時の日本は

結核の高蔓延

治の病「亡国病」と恐れられ、

1950年まで日本人の死因

第1位が結核でした。

その後、治療薬の発見やB

Cワクチンの普及、生活水

準の向上により患者数は大幅

に減少し、2021年には人

口10万人あたりの罹患率が9.2

人となり、日本もようやく「低

蔓延国」の仲間入りを果たし

ました。

新規患者毎年1万人超

しかし、結核は「過去の病気」とはまだ言えません。

2024年の新規患者数は

10,051人、死亡者は



1,461人に上ります。減少傾向にあるとはいえ、毎年1万人以上の新規感染者があり、1,500人近くの方がお亡くなりになっているという実情があります。特に沖縄県は罹患率が9.6（全国8.1、2024年）と全国的にも高めの水準です。

現在、新規患者の約7割を60歳以上が占めています。かつて高く中蔓延国だった頃に感染し、加齢などで免疫力が下がったことで、数十年を経て発病するケースが多いためです。

結核は早期診断、早期治療が非常に重要です。2週間以上続く咳、痰（血痰）、微熱に加えて、倦怠感、体重減少、食欲低下、寝汗等の症状あれば、早めに受診してください。また、典型症状がなく、胸部X線検査で偶然発見される場合もありますので、定期的に健診を受けることも大切です。

沖縄協同病院
総合内科医師（感染症）
石井 隆弘

【医療福祉生協の理念】 健康をつくる。 平和をつくる。 いのち輝く社会をつくる。

楽しかった

ボッチャ交流会 (中北部)

7月31日に特別養護老人ホーム知花の里で北部・中部・うるまの3ブロックのボッチャ交流会が開催され、42名が参加しました。

私の
ベスト
ショット

浪漫飛行 いつかは挑戦してみたいものの1つです。
(沖縄協同病院 診療情報管理室 貝敷浩子)

作品コーナー



青空埋める向日葵とカブトムシ

暑い、熱い、夏はまだまだ続きます！
デイケアの利用者と職員の共同作品です。今回、夏にぴったりのスイカとカブトムシの貼り絵と、色画用紙と色鉛筆で向日葵の壁画を作りました。
完成した壁画を見て「綺麗に出来たねー！」と利用者からの感想で、嬉しさに暑さも吹き飛びました。向日葵とカブトムシが「未来はきっと青空だよ」言っているようでした。

首里協同クリニック デイケア
介護福祉士 當間 健作

寄付ありがとう

こども食堂すまいるカフェ北谷
ちたん支部 子ども食堂サポート班



7月18日に自販機管理会社の企業さんより12万円の寄付がありました。



事業所紹介 やんばる協同クリニック

慢性疾患管理や訪問診療で機能と役割を発揮

動を中心に診療を行っています。外来診療では、問診や検査、診察を通して慢性疾患を管理し、訪問診療では、自宅や入

多くの組合員さんの念願であった北部地域への事業所建設。名護市大北にあるやんばる協同クリニックは、2011年4月に開院し、今年で15周年を迎えました。

居施設へ、訪問診療や往診を通して医療活動を行います。保健予防活動では、特定健診・長寿健診・事業所健診等の各種健診、また各種予防接種を実施しています。



名護地域では、訪問診療や往診を担う医療機関が少なく、地域が在宅医療を希求していたことと私たちが行う地域医療活動が合致し、急性期医療を担う県立北部病院や北部地区医師会病院、またその他からも、多くの訪問診療依頼や相談を引き受けており、10ヶ所以上の訪問看護ステーションや多くの介護支援専門員と連携をとり訪問診療を行っています。名護地域で訪問診療を希望する方がいらっしゃいましたら、ぜひ当クリニックへ紹介や相談をお願いいたします。

また、10月からインフルエンザワクチンの接種を始めます。組合員割引もあります。これからも地域の要望に応えられるよう、全職員で奮闘していく所存です。

やんばる協同クリニック

事務長 比嘉直樹